

日本工学院専門学校		開講年度	2020年度		科目名	映像音響3	
科目基礎情報							
開設学科	音響芸術科		コース名	全コース		開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位					授業形態	講義
教科書/教材	参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	山崎 進			実務経験の有無・職種	有：レコーディングエンジニア		
学習目的							
映像音響1、2で学んだことをベースに2年次ではより実践的な内容を学び、コンテンツ制作に必要な知識、テクニックを理解、さらに課題等で表現力を身に付ける。また、現場でもPCベースでの作業が多い現状に対応するためにファイルフォーマット、フォーマット変換、データの取り扱い等を理解する。							
到達目標							
音響機器、映像機器の基本原理を理解し作品制作への応用力を身に付ける。音楽業界ではレコーディングスタジオ等、映像業界ではMAスタジオ、ビデオ編集室等のポストプロダクションで新人が求められる知識・技術を身につけることにより就職活動、研修等で使える内容を理解し、実践力のある人材を育成する。また、作品制作をすることにより実践力を身に付ける。							
教育方法等							
授業概要	授業にて、様々な作品を鑑賞して知識を深め、その作品を通して使われている技法・テクニックを学ぶ。						
注意点	この授業では、社会人としてマナー教育もかねている為、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。 公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験	80%	試験を総合的に評価する				
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	ガイダンス			科目内容の説明、音楽関連業界の現状について			
2回	1年次総復習			音響伝送ケーブルの種類、図記号カラーコード等1年の復習模擬試、近年のメディア紹介			
3回	音楽と映像の融合1			歴史的作品の研究 Part1 コマーシャルの映像とオーディオ			
4回	制作術			オーディオと映像の現場			
5回	音楽を知る1			楽器の構造を知り、音の特色を学び、音の原点を探る（金管、木管楽器）			
6回	音楽を知る2			様々の演奏手法での音色の変化を習得する（打楽器、弦楽器、電子楽器）			
7回	DVDメディア			DVDメディアの知識の基礎と作品、各種メディアパッケージの規格（CD, DVD, Blu-ray）			
8回	音楽と映像の融合2			歴史的作品の研究 Part2 （サラウンド作品も含む）			
9回	音楽と映像の融合3			歴史的作品の研究 Part3 ライブ、イベントとの映像とオーディオ			
10回	デジタルオーディオ1			音とは！周波数、音色、レンジ、特性 Protocolsでの楽曲編集			
11回	デジタルオーディオ2			応用 Protocolsでのミキシングと効果各種1、定位、位相			
12回	Pro Toolsのシステム1			映像とオーディオに関連するミキシング基礎1			
13回	Pro Toolsのシステム2			ミキシングからマスタリング			
14回	ミキシング・コンソール			ミキシング・コンソールの種類(アナログ・デジタル)と用途			
15回	デジタル圧縮フォーマット			デジタル圧縮フォーマットの種類、特徴・用途と用語			